KOIZUMI STEP UP DESK L コイズミステップアップデスク エル

製造発売元：コイズミファニテック株式会社

保存用

DRK-2AI-SUD3

コイズミ学習デスク　組立説明書（保証書付き）

このたびはコイズミ学習デスクをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●この組立説明書をよくお読みのうえ正しく組立てしてください。
●事故防止、安全のため、組立説明書に記載の注意マークをお守りいただき組立てしてください。
●使用上や安全上のご注意は、別冊の取扱説明書をよくお読みください。
●組立てしたあとも組替えや修理の際にお役立ていただくために、大切に保存してください。
●文中のイラストは共通の為、現物と異なる場合がありますが、ご容赦ください。

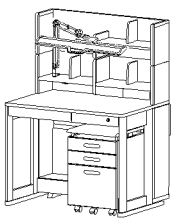
組立説明書のマークについて

●この説明書には下記のマークを付けています。
　⚠気をつけていただきたい注意内容
　⃠行ってはいけない禁止内容　❗必ず行っていただきたい指示内容
●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●この説明書は、大切に保管してください。
●本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

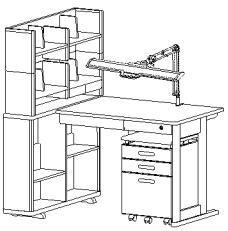
❗組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3、STEP4、STEP5と、用途に応じて5種類のスタイルに組み立てることができます。どのスタイルにするか決めてから「1シェルフ→2デスク→3デスクとシェルフの組み付け」の順に組立て方法のSTEPをご覧になりながら組み立ててください。

※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。

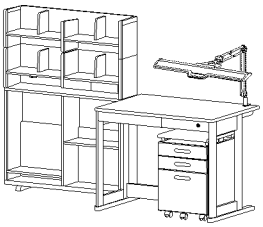


●STEP1
（スタンダードスタイル）

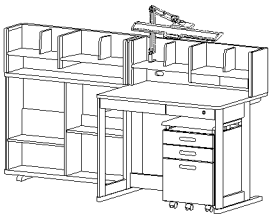


●STEP2
（ユニットデスクスタイル）
※左右の組替えが可能です。

●STEP3
（L型カウンタースタイル）
※左右の組替えが可能です。



●STEP4
（セパレートスタイル）



●STEP5
（セパレートロースタイル）

●展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
●力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

目次

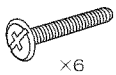
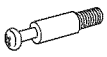
1 シェルフの組立て方法……P2～P3
2 デスクの組立て方法……P4～P5
3 デスクとシェルフの組付け方法…P6～P8
4 ライトの取付け方法……P8
5 コンセントの取付け方法……P9
6 可動棚と可動仕切板の取付け方法 P9～P10
7 ライトとコンセントの結線…P11
8 カバンフックの取付け方……P11
9 ワゴンの組立て方法……P11

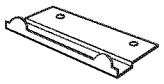
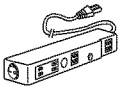
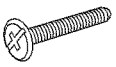
品番 MDF-369SK　MDF-370NS

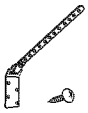
❗必ず2人以上で作業を行ってください。

1　シェルフの組立て方法　※シェルフから組立てすると少ないスペースで組立てできます。

■シェルフ付属品

A ボルト(M6×35mm)	B 連結ピン	C 回転金具（大）	E 穴埋めキャップ	F ナット用キャップ	G ボルト用キャップ	H 樹脂棚ダボ
MDF-369SKは、GKU4BJ635 MDF-370NSは、GKU4BU635	SZC8MB605	SZC8MKN18	SZC9AC18V	SZC9DC07V	SZC7BC60V	SZCTTD09G
		シルバー				
×6	×8	×12	×3	×10	×2	×8

W 棚固定ピン	I ユニット時棚固定金具	J ボルト(M6×12mm)	K ユニット連結金具	L ボルト(M6×15mm)	M コンセントボックス	N ボルト(M6×35mm)	X ボルト(M6×20mm)
GKU2TD475	SZC1LK136	GKU1B212Z	SZC1LK963	GKU4BA616	KRE9SW10L	GKU4BU635	GKU4BU620
							
×8	×1	×2	×2	×6	×1	×1	×2

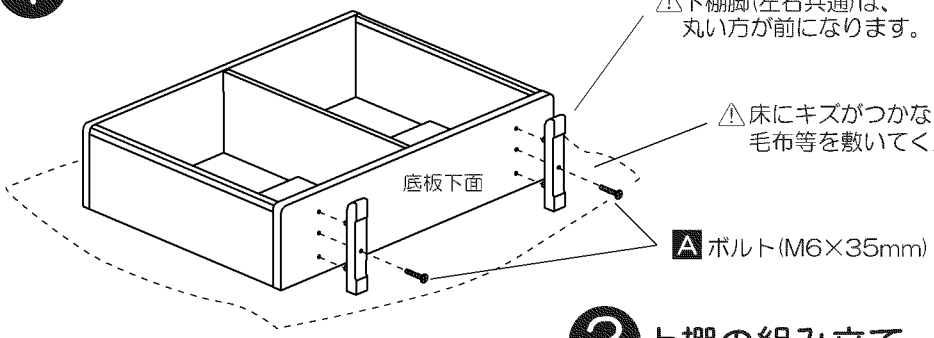
O 転倒防止金具	Y ドライバー
SZC8TN002	
	
1セット	×1

※部品はシェルフとシェルフ棚板の2つの梱包に分かれて入っています。

⚠小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡お子様が飲み込むことがあります。
⚠スタイルにより　使用しない部品や部材が生じることがあります

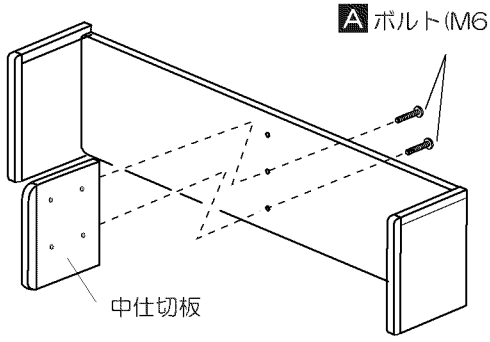
全STEP共通

1 下棚脚の取り付け

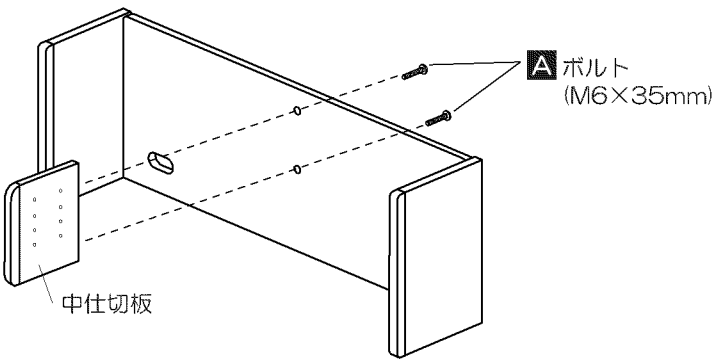


2 上棚の組み立て

⚠STEP1・2・4の場合の場合は、下二つ
STEP3・5の場合は、上二つの穴に取付けてください。

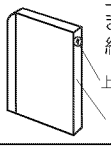


3 中棚中央仕切板の取り付け



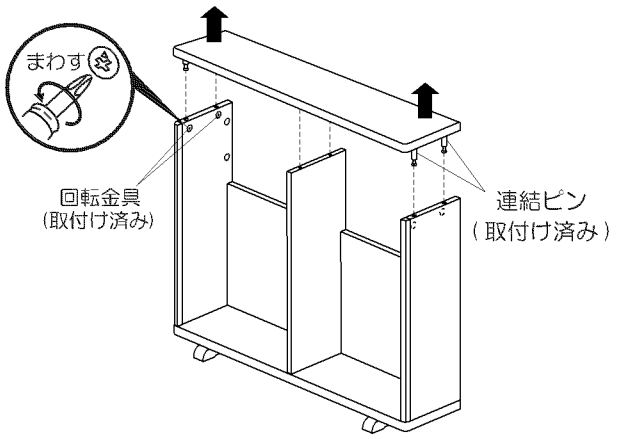
中仕切板の上下方向

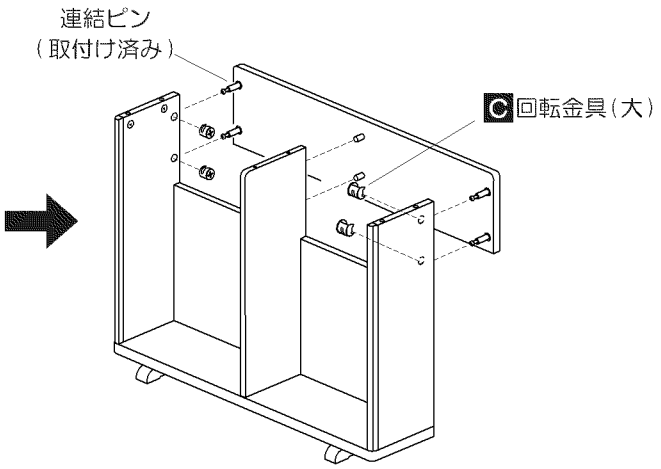
上棚及び中棚の中仕切板後ろ面に上下確認の為のシールを貼っていますので、上下方向をご確認頂き組立を行なってください。



STEP1の場合

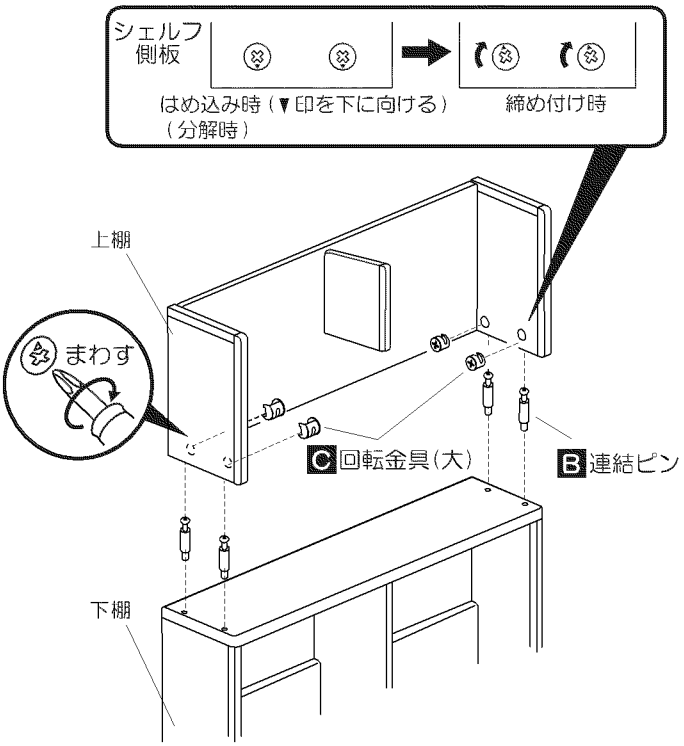
■下棚天板の取り外し、取り付け方





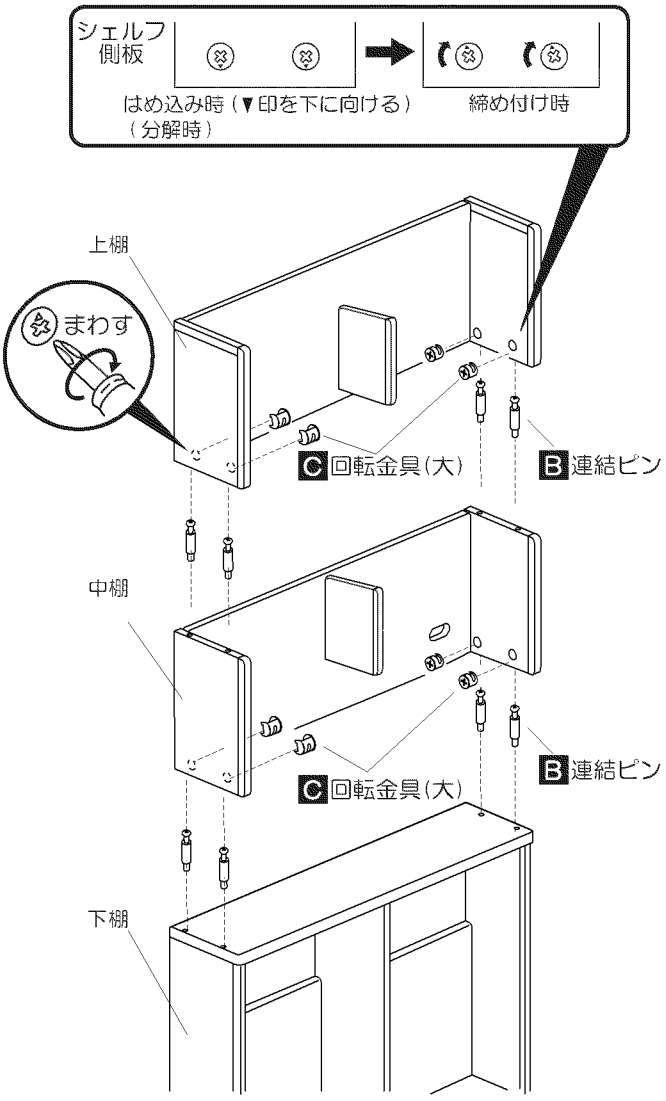
STEP3・STEP5の場合

❶上棚と下棚の取り付け



STEP4の場合

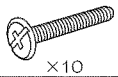
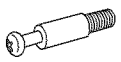
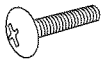
■上棚と中棚と下棚の取り付け

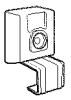


⚠STEP2の場合はデスクを先に組み立てた後、P7のデスクとシェルフの組付け方法をご参照ください。

2　デスクの組立て方法

■デスク付属品

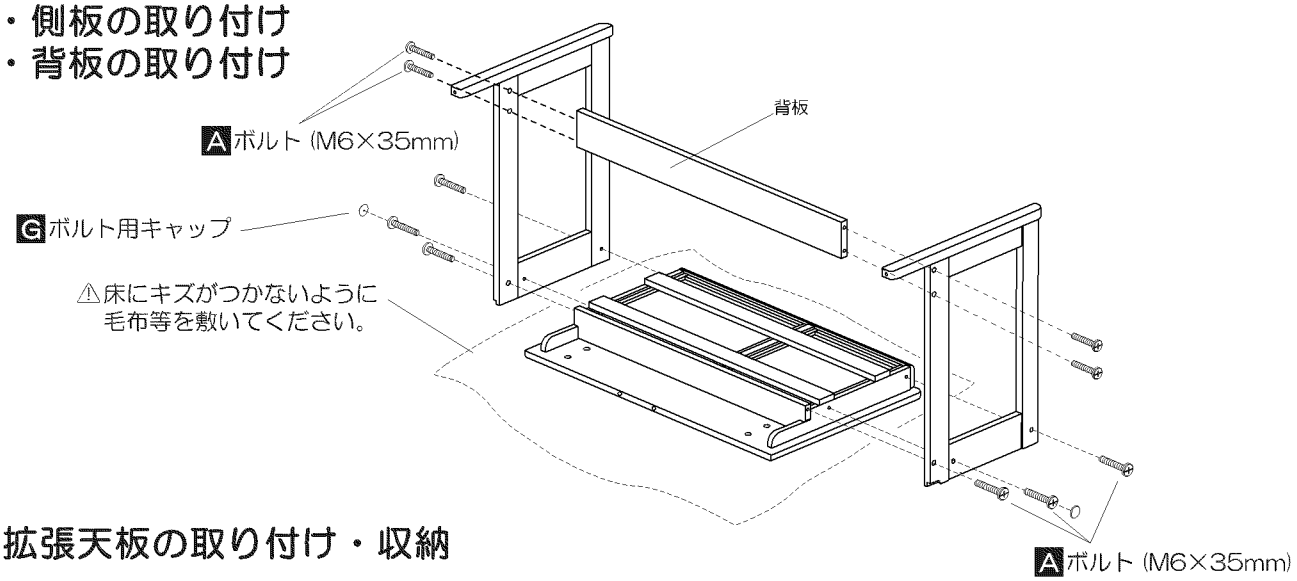
A ボルト(M6×35mm)	B 連結ピン	C 回転金具（大）	E 穴埋めキャップ	F ナット用キャップ	G ボルト用キャップ	P カバンフック	Q トラスボルト(M6×25mm)
MDF-369SKは、GKU4BJ635 MDF-370NSは、GKU4BU635	SZC8MB605	SZC8MKN18	SZC9AC18V	SZC9DC07V	SZC7BC60V	SZC9KF07V	GKU4BW625
		 シルバー					
×10	×2	×2	×2	×3	×2	×1	×1

R ボルト(M6×90mm)	S ボルト(M6×20mm)	T 拡張天板受金具	U ガッチリ金具（A）	V ガッチリ金具（B）	カギ
GKU2BU690	GKU4BU620	SZC2LKSUK	SZC1GK230	SZC1GK231	LTFTKD503
			 M6×30 ×2 ×2		
×2	×6	×2	1セット	×1	1セット

⚠小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡お子様が飲み込むことがあります。
⚠スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
➡部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

STEP1・STEP4・STEP5の場合

① ・側板の取り付け
・背板の取り付け

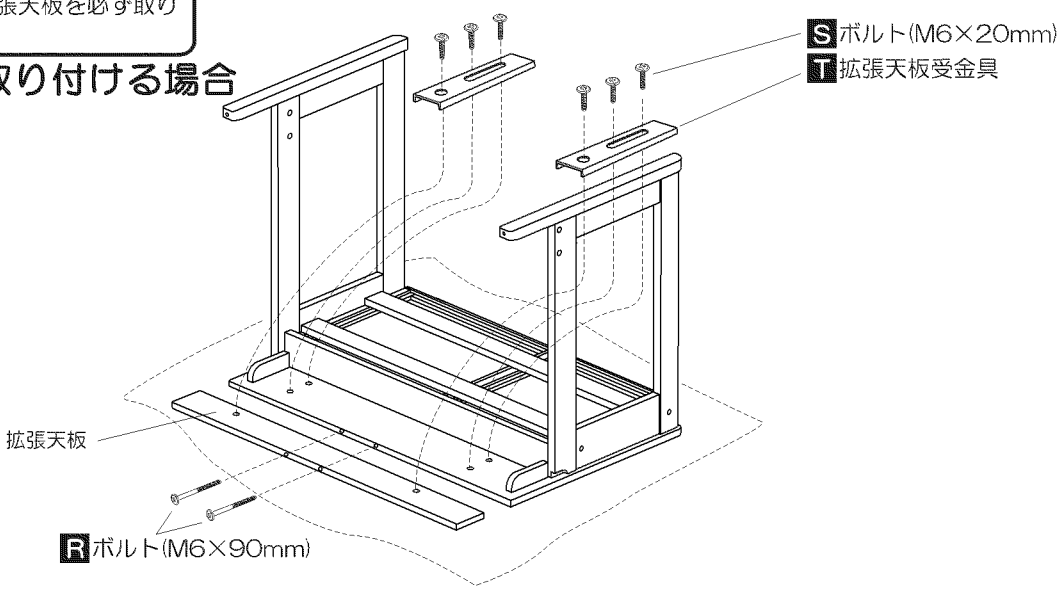


② 拡張天板の取り付け・収納

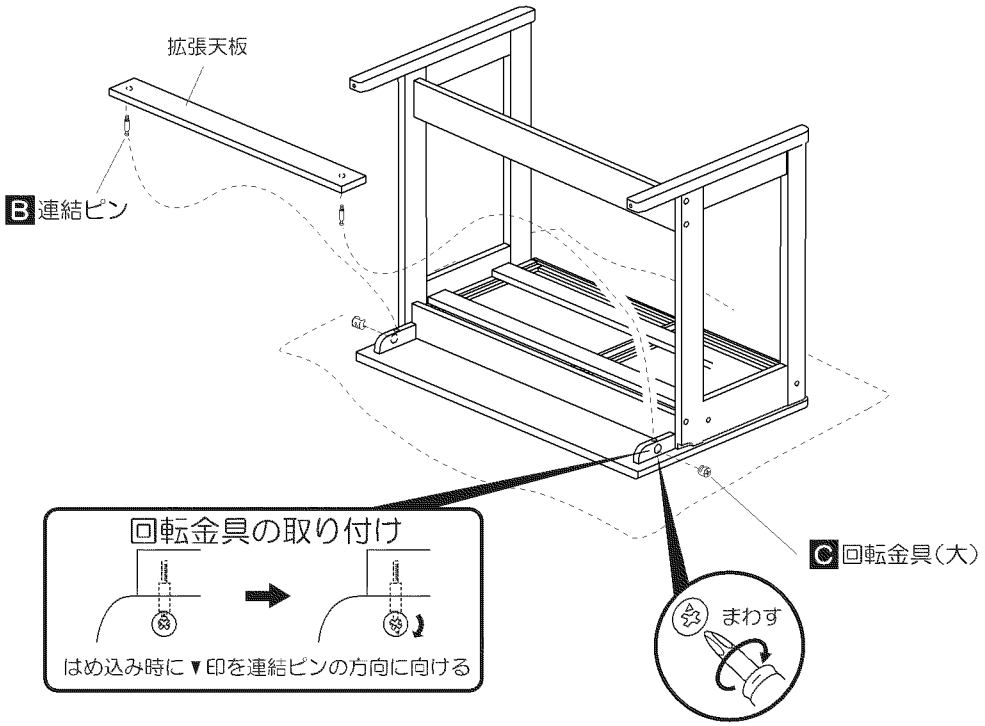
※拡張天板を取り付け天板を広く使うかを決めてから組立てしてください。

⚠STEP1の場合は拡張天板を必ず取り付けてください。

■拡張天板を取り付ける場合



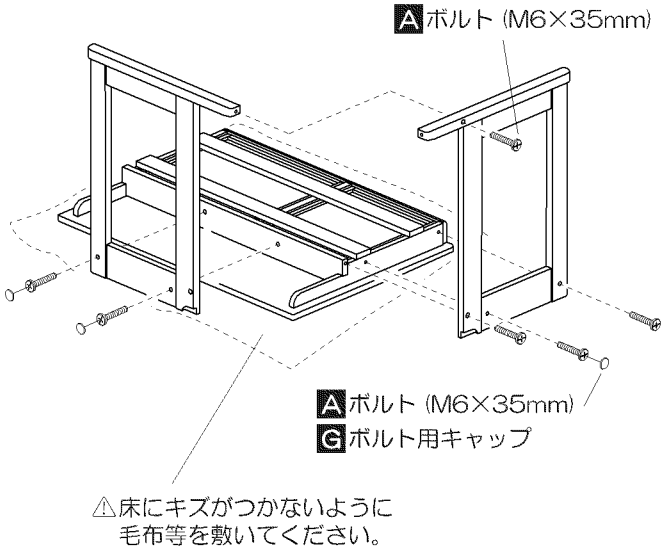
■拡張天板を収納する場合



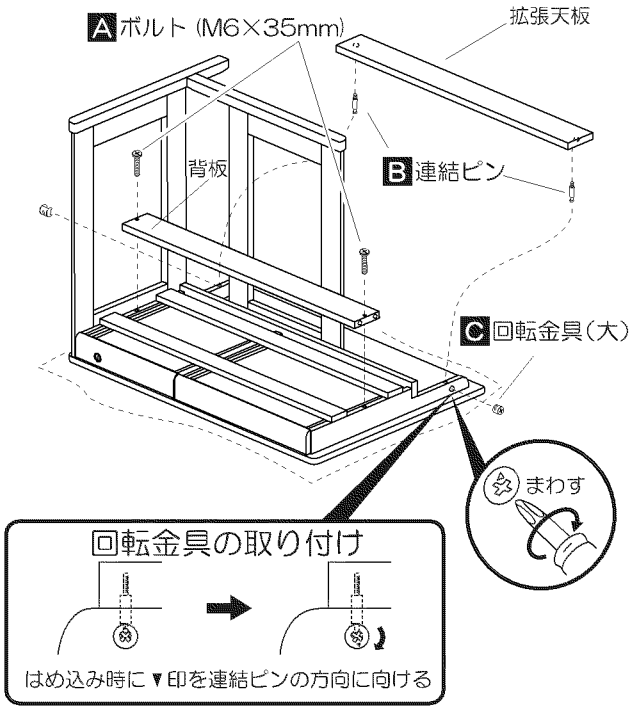
STEP2・STEP3の場合

※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。（P1 のSTEP2・STEP3 の図）
　右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立てしてください。
※ここでは拡張天板を取り付けない場合の説明となっております。
　拡張天板の取り付け方法は P4 の❷をご参照ください。

❶ 側板の取り付け



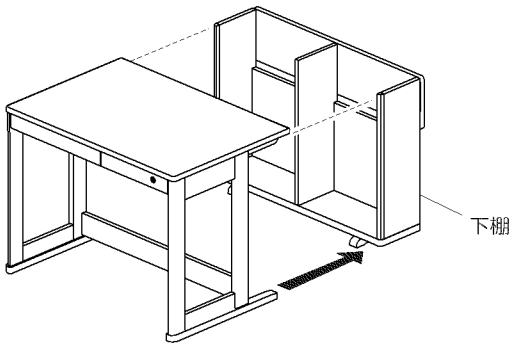
❷・背板の取り付け
・拡張天板の収納



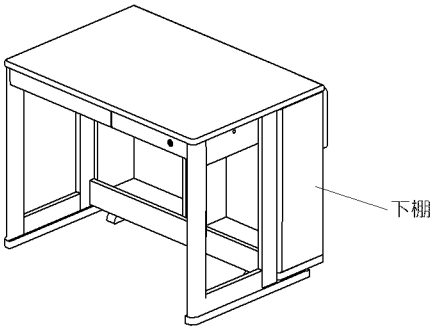
3　デスクとシェルフの組付け方法

STEP１の場合

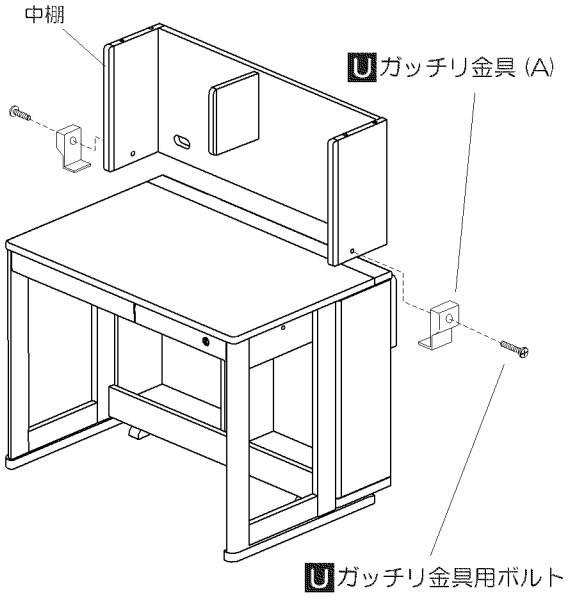
① デスクと下棚の組み立て



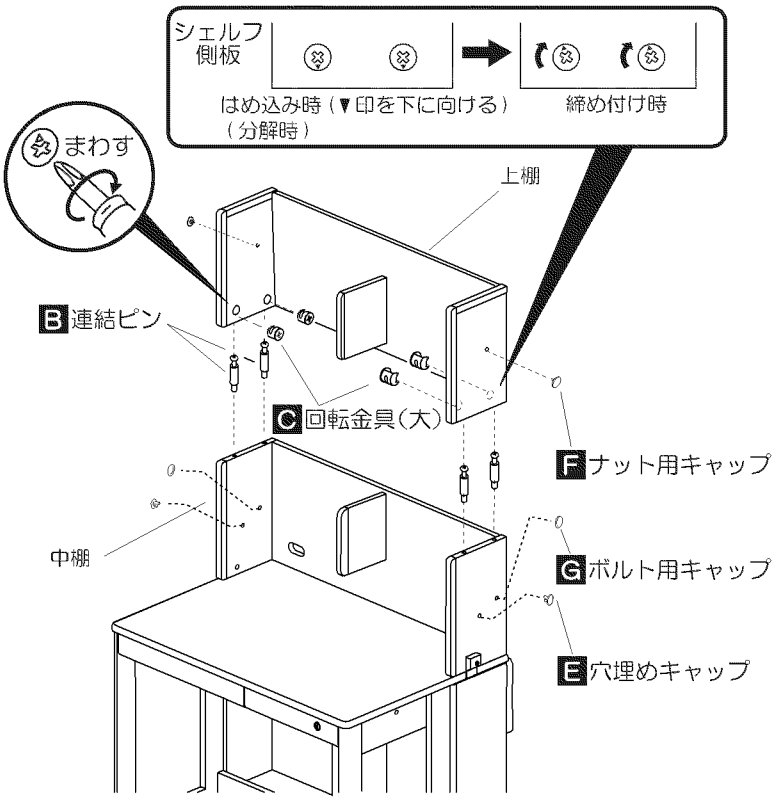
⚠下棚にデスクをかぶせるように
設置してください。



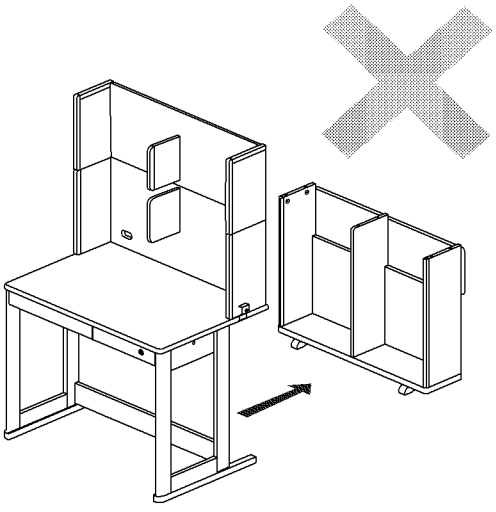
② ・デスクと中棚の組み立て
・ガッチリ金具(A)の取り付け



③ 中棚と下棚の組み立て



警告

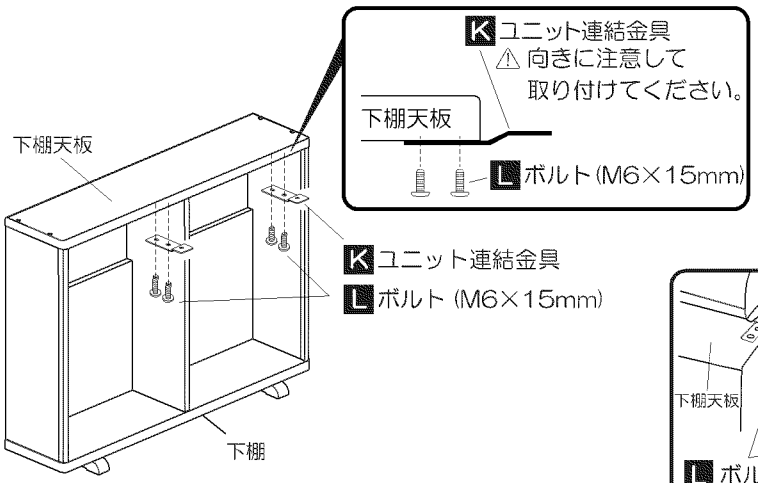


スタンダードスタイルでご使用の際は、シェルフの下棚を取り出して別々で使うのはおやめください。
➡転倒・破損の原因になります。

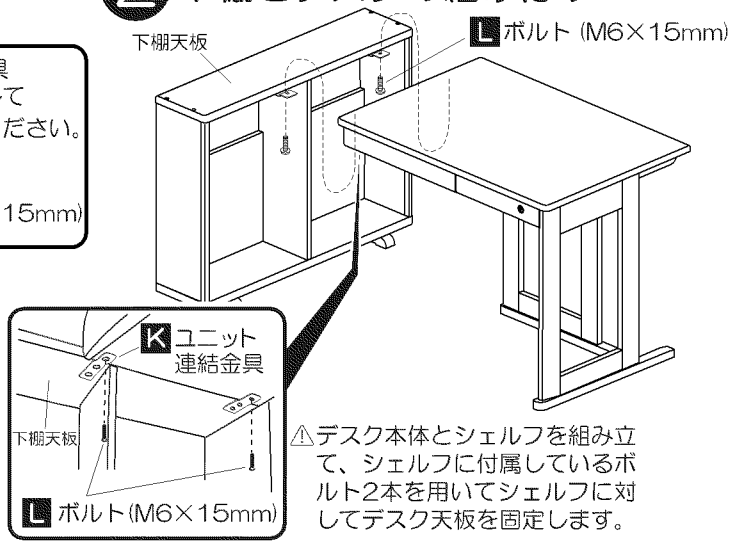
STEP2・STEP3の場合

※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(P1 の STEP2・STEP3 の図)
右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立てしてください。
※ここでは拡張天板を取り付けない場合の説明となっております。
拡張天板の取付け方法は P4 の❷をご参照ください。

❶ ユニット連結金具の取り付け



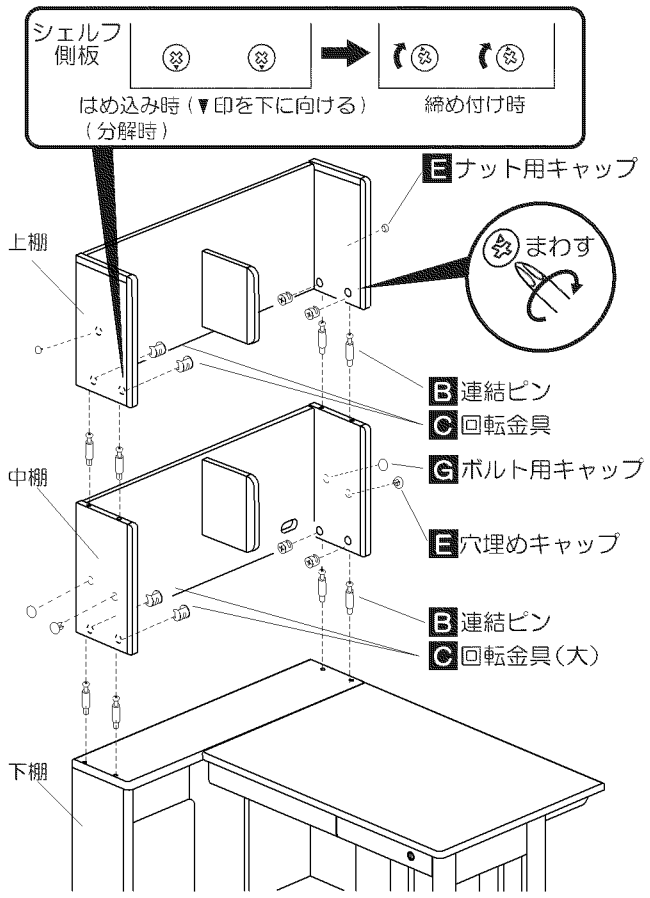
❷ 下棚とデスクの組み付け



⚠デスク本体とシェルフを組み立て、シェルフに付属しているボルト2本を用いてシェルフに対してデスク天板を固定します。

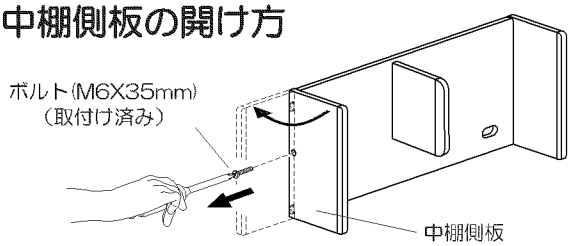
STEP2の場合

■上棚と中棚と下棚の取り付け

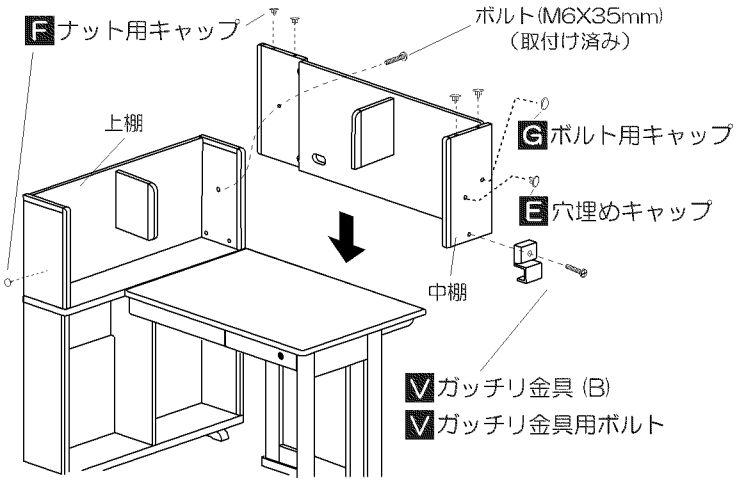


STEP3の場合

❶ 中棚側板の開け方

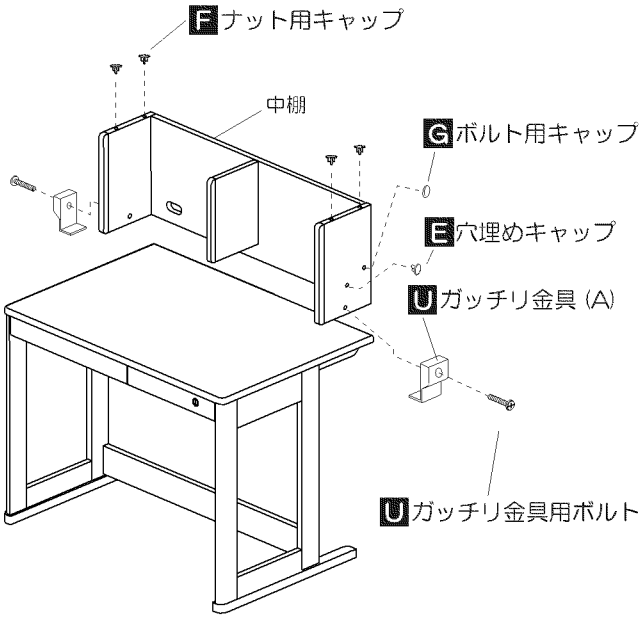


❷ 中棚の取り付け



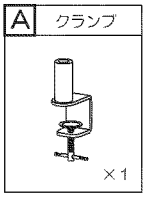
STEP5の場合

■・中棚とデスクの組み立て
・ガッチリ金具（A）の取り付け

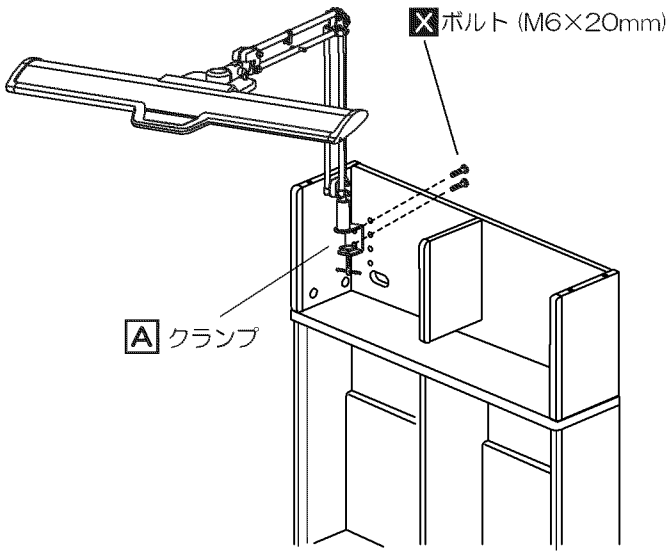


4　ライトの取付け方法

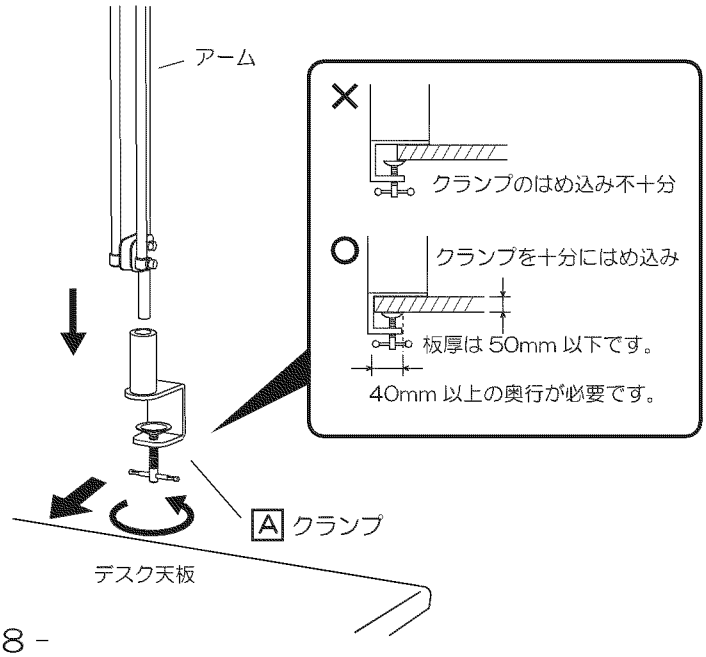
■ライト付属品



STEP1・STEP3・STEP5の場合



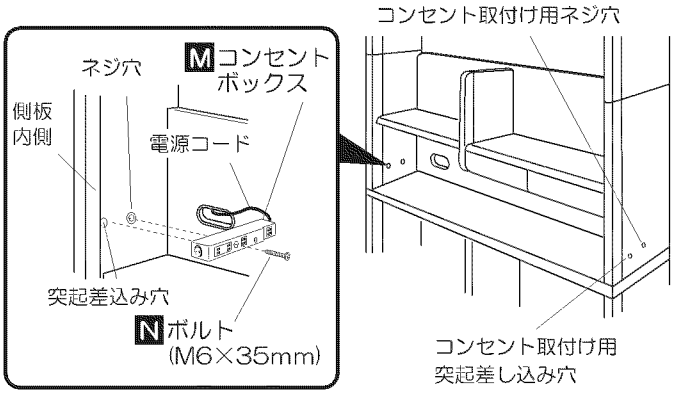
STEP2・STEP4の場合



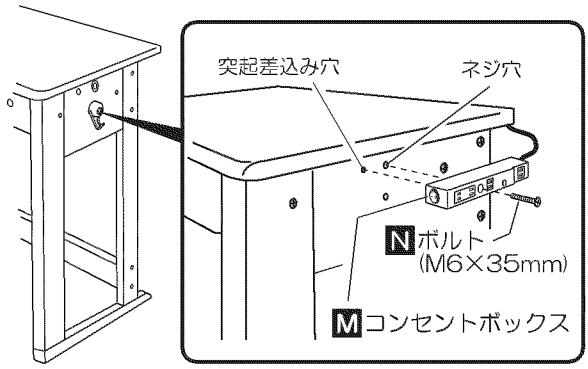
5　コンセントの取付け方法

⚠コンセントボックスを取付けない箇所の突起差込み穴には E 穴埋めキャップを、
ネジ穴には F ナット用キャップをはめ込んでください。

■中棚へのコンセントの取り付け



■デスクへのコンセントの取り付け



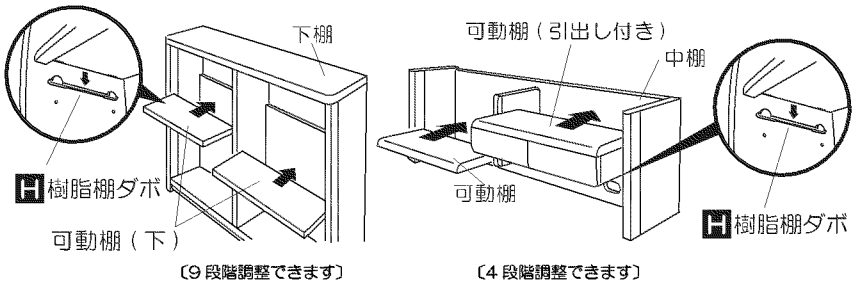
6　可動棚と可動仕切板の取付け方法

⃠可動棚の耐荷重は 15 kgです。
➡15 kg以上のものを乗せると破損や
ケガの原因になります。

⚠組立て中の上棚、中棚への可動棚の取り付けは危険ですので、シェルフの
組み立てが終わってから行ってください。
➡ケガ・破損の原因になります。

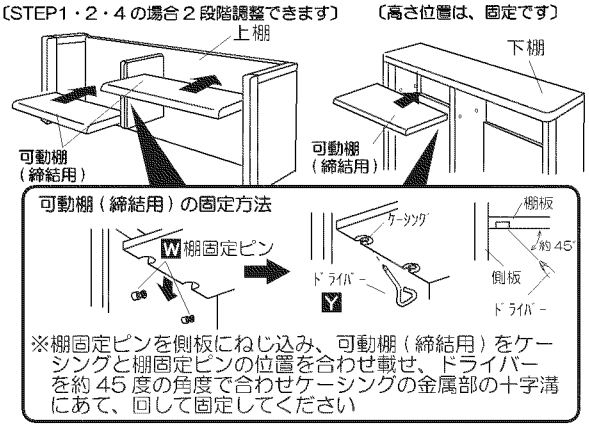
❶ 可動棚の取り付け

①下棚、中棚への可動棚の取り付け



樹脂棚ダボを側板及び仕切板の穴に差し込み、その上に可動棚を載せてください。

②上棚・下棚への可動棚（締結用）の取り付け

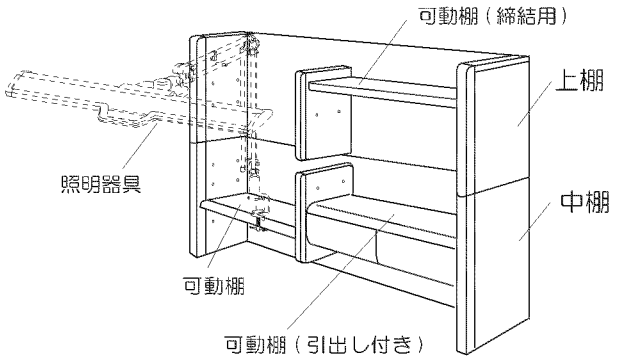


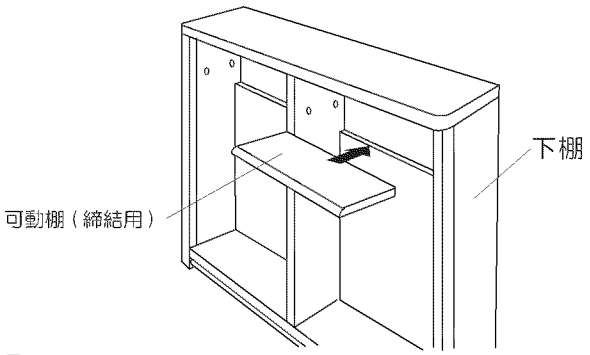
※棚固定ピンを側板にねじ込み、可動棚（締結用）をケーシングと棚固定ピンの位置を合わせ載せ、ドライバーを約 45 度の角度で合わせケーシングの金属部の十字溝にあて、回して固定してください

※ 棚の取り付けに際し、各形態ごとに制約がありますので、下記内容をご確認いただき取付作業を行なってください。

■STEP1 の場合

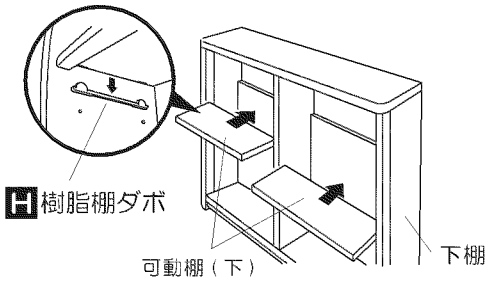
中棚に、①の手順で可動棚及び可動棚（引出し付き）をセットしてください。上棚には、②の可動棚（締結用）を取り付けますが、STEP1 の場合は、左右どちらかに照明器具を設置しますので、2 枚の可動棚（締結用）の内 1 枚を照明器具の付かない方に②の要領で組付けてください。
その場合もう 1 枚の可動棚（締結用）は、下棚に同じく②の手順で、セットしてください。



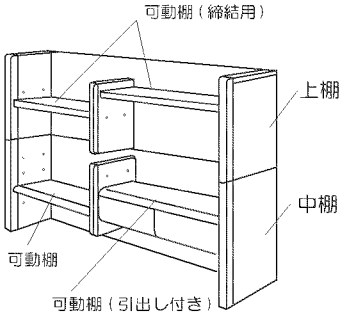


■STEP2・4の場合

● 下棚には、９ページ ❶-①の手順で可動棚を取り付けてください。



● 中棚には、可動棚及び可動棚（引出付き）を①の手順で、上棚には、②の手順で可動棚（締結用）2 枚を取り付けてください。



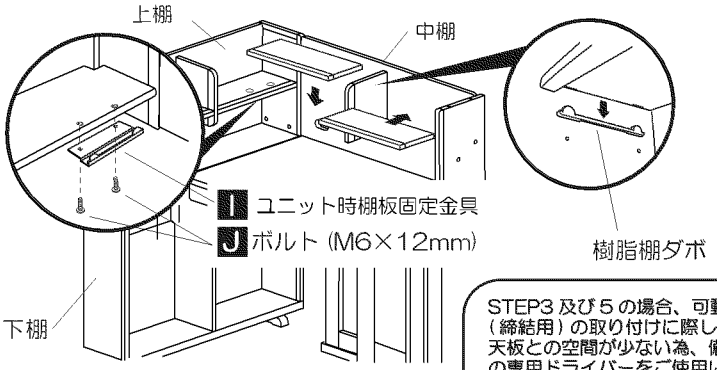
■STEP3の場合

● 下棚には、９ページ ❶-①の手順で可動棚を取り付けてください。

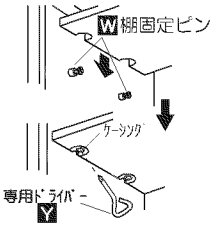
● L 型カウンター時の棚装着の手順

Ⅰ 下棚の上に載せた上棚に②の要領で棚板（締結用）を取り付けます。

Ⅱ L 型のｺｰﾅｰ側にユニット時棚板固定金具を取り付けた後、中棚に可動棚及び可動棚（引出し付き）を①の手順でセットします。



STEP3 及び５の場合、可動棚（締結用）の取り付けに際し、下棚天板との空間が少ない為、備え付けの専用ドライバーをご使用いただく様、お願いいたします。

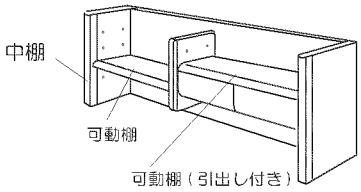


※棚固定ピンを側板にねじ込み、可動棚（締結用）をケーシングと棚固定ピンの位置を合わせ載せ、専用ドライバーを約 45 度の角度で合わせケーシングの金属部の十字溝にあて、回して固定してください。

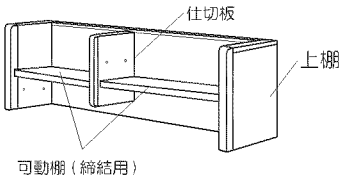
■STEP5の場合

● 下棚には、９ページ ❶-①の手順で可動棚を取り付けてください。

● 中棚には、可動棚及び可動棚（引出付き）を①の手順で、取り付けてください。



● 上棚には、可動棚（締結用）を②の手順で取り付けてください。STEP3・5 の場合は、仕切板を上位置にする関係で、高さ設定は、一段だけになります。（仕切板の上部にもナットが、付いており上段にも装着できる様にも見えますが、側板の同高さにナットが無いので、設定は 1 段のみとなります）



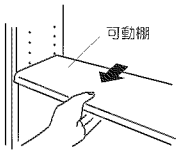
❷ 可動仕切板の取り付け

⚠可動仕切板を取り付ける際は、可動棚の上に物がのっていないことを確認してください。

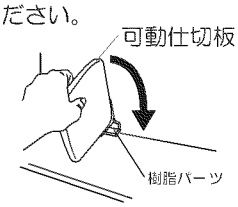
可動仕切板
×4

■可動棚への取付け方法

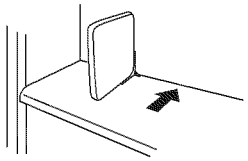
❶ 可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。



❷ 可動棚の後に可動仕切板の樹脂パーツをはめ込んでください。

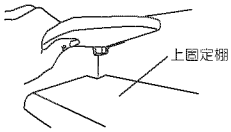


❸ 樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから、可動棚をもとの位置に戻してください。

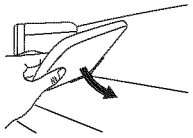


■上固定棚への取付け方法

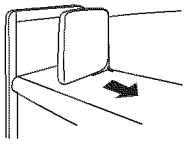
❶ 上固定棚の後角の欠き取り部分に樹脂パーツを寝かせた状態で差し込んでください。



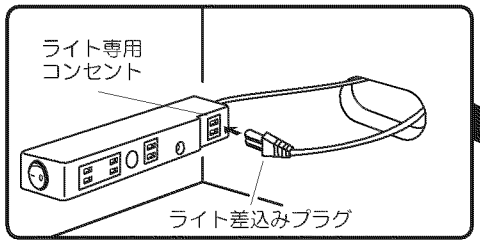
❷ 差し込んだ状態で着脱可動仕切板を垂直におこして上固定棚にはめ込んでください。

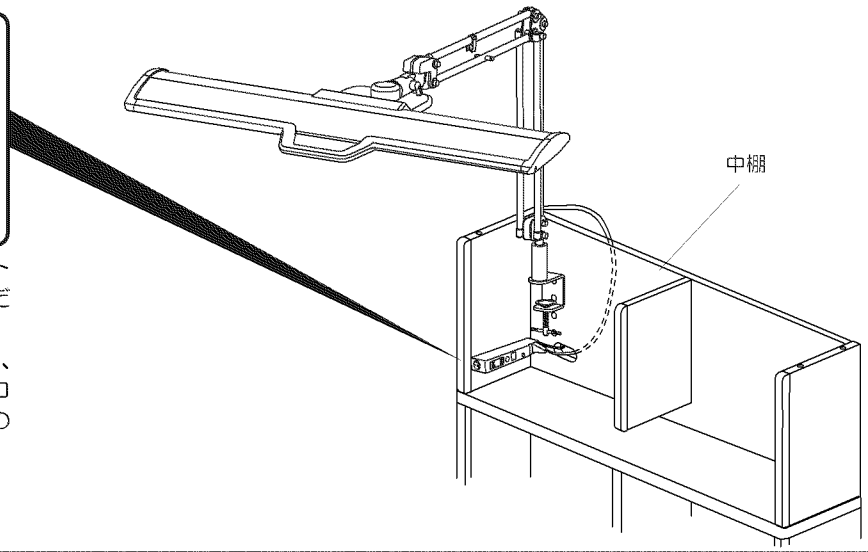


❸ 横にスライドさせて使用してください。



7　ライトとコンセントの結線



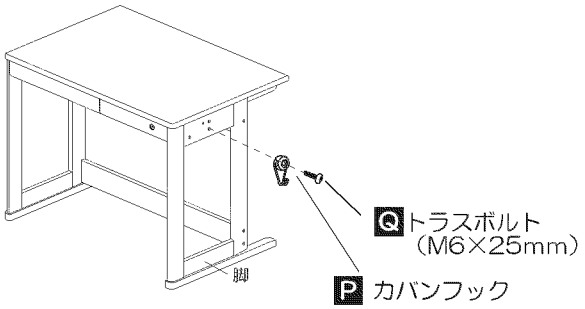


⚠コンセントボックスの一番奥のコンセントにライトの差込みプラグを差し込んでください。
ライト専用コンセント以外のコンセントに、ライトの差込みプラグを差し込んだ場合コンセントボックスのスイッチでのライトの点灯・消灯はできません。

8　カバンフックの取付け方

①脚の左右いずれかに、カバンフックをトラスボルト(M6×25mm)1本を用いて取り付けてください。

②カバンフックをを取付けない箇所の突起差込み穴には **E** 穴埋めキャップを、ネジ穴には **F** ナット用キャップをはめ込んでください。



9　ワゴンの組立て方法

※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

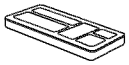
■キャスターの取り付け

①地板の裏にキャスター4個を差し込んでください。前側には、ストッパー付きキャスター（2個）を取り付けてください。

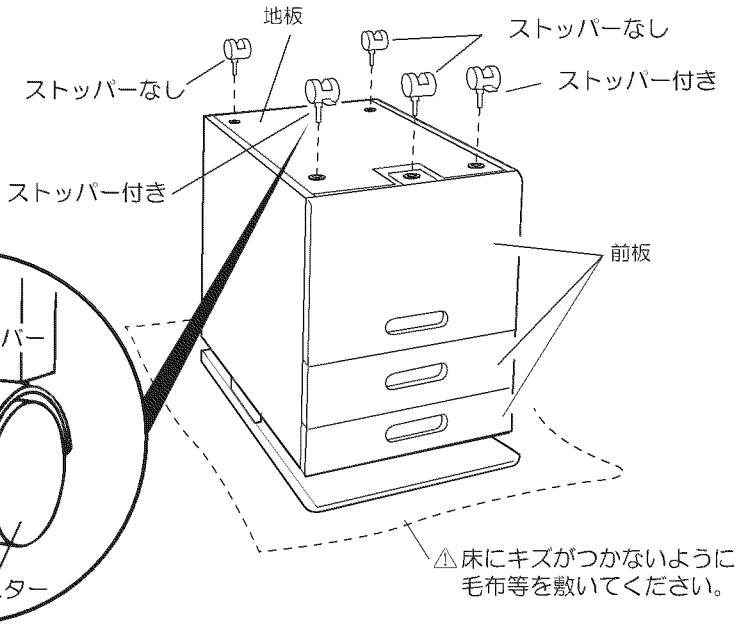
②下段引出しの下のキャスター取付け穴に、キャスター（ストッパーなし）1個をしっかりと差し込んでください。

●ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。

●移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

ワゴン付属部品		
キャスター（5個入り）	ベントレー	仕切板（下引出し用）
SZC9WC94G		
		
×1セット	×1	×2

⚠キャスター1セットは、ストッパー付きが2個
ストッパーなしが3個となります。



分解と組替方法

●引越しなどで分解する必要がある場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。

●スタイルを組替えする場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただきながら、分解していただき、さらに表紙のイラストのどのスタイルにするかを決定のうえ、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、組立てしてください。

●分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。

●分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。

●組替え方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、
組み替えの際には一度ご確認ください。http://kagu.koizumi.co.jp/

コイズミ学習机保証書

＜無料修理規定＞

1.組立説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理**をさせていただきます。
①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼**ください。
②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。

2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
②お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障および損傷
④消耗品の消耗、又はそれによる故障
⑤本書のご提示がない場合
⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き換えた場合

3.本書は日本国内においてのみ有効です。

4.本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

＊ご販売店様へ　必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	MDF-369SK　MDF-370NS （引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。）	
お客様	お名前	
	ご住所　〒 電話番号（　　）　　－	
お買い上げ日		販売店名・住所・電話番号
年　月　日		
保証期間（お買い上げ日より）		
3ヶ年		

（お願い）
お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◇お客様相談室　〒557-0063　大阪市西成区南津守２丁目１番30号　TEL06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063　大阪市西成区南津守２丁目１番30号

所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご容赦ください。